

～さっぽろ<sup>しょう</sup>障がい者<sup>しゃぶらん</sup>プラン2018～

さっぽろししょう ふくしけいかく だい き  
札幌市障がい福祉計画(第6期)

さっぽろししょう じふくしけいかく だい き  
札幌市障がい児福祉計画(第2期)

あん がいよう  
(案)の概要

さっぽろし  
札幌市

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 策定の趣旨

障がいのある方の多様なニーズにきめ細かく対応するための支援拡充、社会参加の促進、バリアフリー化の推進といった国の計画等に示される新たな方向性に対応し、本市の障がい福祉サービス等の更なる充実を図るため、計画期間の終了に伴い策定する。

## 2 策定の根拠

障害者総合支援法（第88条第1項）及び児童福祉法（第33条の20第1項）に基づき策定する。

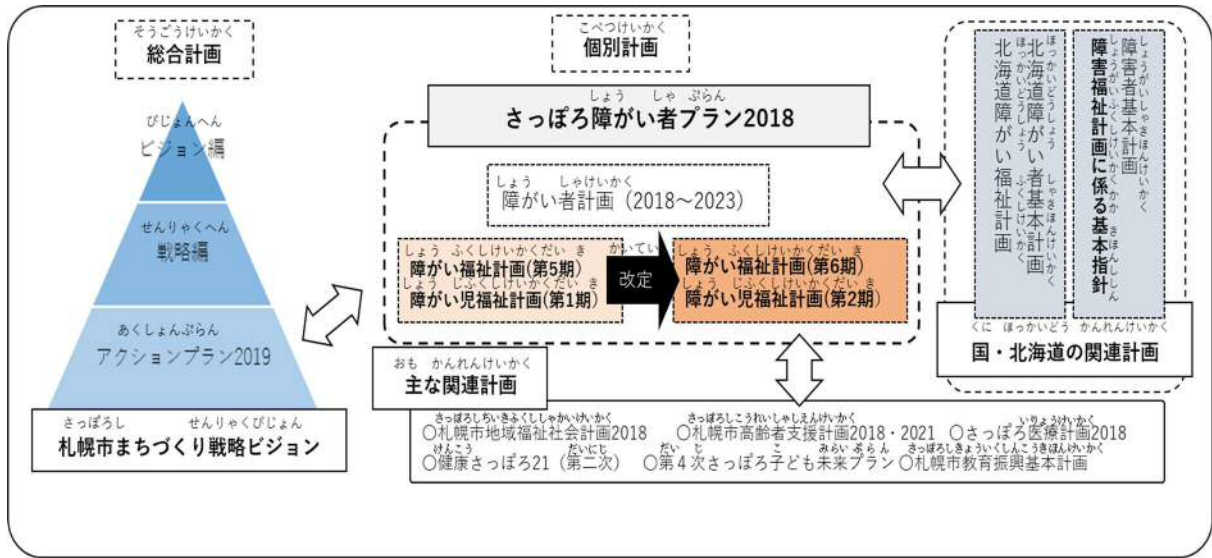
「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針（以下、「国の基本指針」という。）」において、令和3年度から令和5年度までの計画の作成に当たって即すべき事項が定められている。

## 3 計画期間

2021年度（令和3年度）から2023年度（令和5年度）までの3年間。

## 4 計画の位置付け

- 障がい（児）福祉計画は、本市の障がい福祉サービス及び障がい児通所支援等に係る提供体制の確保等を総合的かつ計画的に進めるための計画。障害者基本法に基づく障がい者計画（障がい福祉の基本的な施策を定める）とともに、さっぽろ障がい者プラン2018（以下、「プラン」という。）を構成する。
- プランは、まちづくりの基本指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を上位計画とする障がい福祉施策に関する部門別の個別計画。保健福祉関連計画をはじめとした本市が定める他の関連計画のほか、国・北海道との整合性を図り策定する。



札幌市においては、各種計画へSDGsの視点を反映するなど、SDGsの達成に向け積極的に取り組んでいます。

本計画においても、SDGsの視点を反映します。



## 1 障がい福祉施策をめぐる国の動向

障がいのある方の社会参加の促進や、障がいのある子どもへの支援体制の強化が進められている。

- ・ 障害者総合支援法及び児童福祉法の改正（就労定着支援の創設等）  
（平成30年4月1日施行）
- ・ 障害者文化芸術活動推進法の施行（平成30年6月）
- ・ 読書バリアフリー法の施行（令和元年6月）
- ・ 就学前の障がい児の発達支援の無償化（令和元年10月1日施行）
- ・ 障害福祉人材の処遇改善及び消費税率引き上げに伴う報酬改定  
（令和元年10月1日施行）

## 2 札幌市の現状

○次期計画期間においても、障がいのある方の増加が見込まれる。

障がい者手帳（身体・療育・精神）所持者数は、2016年度末から約6千人増、2019年度末時点で約13万2千人（本市人口の約7%）。特に精神障がいの手帳所持者数の増加が大きい。難病患者数も微増。社会増（転入超過）の傾向。

○障がい福祉サービス等の利用者数・給付費は年々増加傾向にある。事業所数も増えている。

### 3 令和元年度札幌市 障がい児者実態等調査結果 (概要)

#### 障がいのある方に対する市民理解

・ 前回調査 (2016) 同様、「深まっている」よりも「深まっていると思わない」と回答する割合が上回る。

#### 障がい福祉サービスについて

・ 前回調査より、量・内容は「(おおむね)満足」の割合は増えたが「(あまり)満足してない」と感じる方も一定数存在。

・ 質や事業所の対応は、ある程度満足していると感じている方がいる一方で、前回調査より「(あまり)満足していない」割合が若干増加。

障がい福祉サービスについて (単位：%)		障がい者調査		障がい児調査	
		2016	2019	2016	2019
量	(おおむね) 満足	78.9	80.9	78.8	83.6
	(あまり) 満足していない	14.6	14.1	19.1	15.7
内容	(おおむね) 満足	76.1	78.2	83.2	84.3
	(あまり) 満足していない	14.6	16.3	13.9	15.3
質	(おおむね) 満足	75.1	76.2	79.1	78.5
	(あまり) 満足していない	15.2	17.3	11.1	13.7
事業所の対応	(おおむね) 満足	77.4	79.6	84.3	90.2
	(あまり) 満足していない	13.6	15.1	11.8	9.8

令和元年度に本市が実施した調査では、障がいのある方への理解がまだ十分とはいえないことや、前回調査より改善傾向にあるものの、サービスの質についてはさらなる充実を求める声が寄せられているなど、障がいのある方やその家族にとっては、いまだに生活のしづらさが残っている状態。また、計画期間（2021～2023年）においては、各種障がい者手帳所持者数の増加などに伴って、障がい福祉サービス等の利用が広がることを見込まれる。引き続き障がい福祉サービス等の提供体制を確保していくことが課題となっている。

#### 4 目指すべき共生社会に向けて ～障がい福祉施策の視点から～

障がい児者実態等調査から、共生社会のイメージとして挙げられている、障がい等に対する理解が進み心のバリアフリー化がなされた社会や、就労をはじめ社会参加の機会が充実した社会は、共生社会を構成する重要な要素であり、これらに共通する「障がいのある方に対する理解のより一層の促進」が、札幌市の障がい福祉施策の継続的な課題といえる。

<b>目指すべき共生社会像</b>	<b>共生社会実現に必要な施策</b>
<p><b>心のバリアフリー化がなされた社会</b></p> <p>障がいは個人の特性のひとつであり、その差異により差別や偏見が生じない社会、互いに支え合える社会</p>	<p>・心のバリアフリー化実現にむけた施策</p> <p>障がいへの理解促進や、障がいの有無に関わらず共に育つ環境（インクルーシブ）や交流機会の創出等</p>
<p><b>就労をはじめとした社会参加の機会が充実した社会</b></p> <p>障がいの有無によらず、それぞれにふさわしい自立した生活を営み、社会参加ができる社会</p>	<p>・障がい福祉サービスの拡充</p> <p>・余暇活動支援や情報提供手法の拡充</p> <p>・就労支援制度の拡充・改善や一般就労機会の拡充</p>

## 1 基本理念・計画目標

本計画はプランを構成する計画であることから、引き続きプランに掲げる基本理念等の推進を目指す。

### ■基本理念

障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現

### ■計画目標

- 1 地域社会の障がいのある人に対する理解促進
- 2 障がいのある人の自己決定の尊重と意思決定の支援
- 3 施設、病院から地域への移行推進と地域生活を支えるためのサービス提供基盤の一層の充実
- 4 市民、事業者、行政などの連携強化による地域の福祉力の向上
- 5 障がいのある子どもへの支援
- 6 障がいを理由とする差別の解消

## 2 2023年度の成果目標

継続して取り組む必要があるものは引き続き設定し、国の基本指針で示された新たな考え方や障がい福祉施策の視点から目指すべき共生社会の実現に向けた取組も反映。

げんこうけいかく せいかもくひょう たっせいじょうきょう  
**【現行計画の成果目標と達成状況】**

ねんど せいかもくひょう 2020年度の成果目標	もくひょう ち 目標 (値)	たっせいじょうきょう 達成状況
にゅうしよしせつ にゅうしよ 入所施設の入所 しゃ ちいきせいかつ 者の地域生活への いこう 移行	ねんどまつ しせつにゅうしよ 2017年度末の施設入所 者のうち、125人 (6 % ) ちいきせいかつ いこう が地域生活へ移行	ねんどまつじてん いこうしゃ 2018年度末時点で移行者 すう にん ばーせんと 数27人 (1.3 % )
	ねんどまつ しせつにゅうしよ 2017年度末の施設入所 しゃすう にん ばーせんと 者数から83人 (4 % ) げんしょう が減少	ねんどまつ 2019年度末までに 85人 げんしょう ばーせんと 減少 (4 % )
せいしんしょう たい 精神障がいにも対 おう ちいきほうかけ 応した地域包括ケ あしすてむ こうちく アシステムの構築に む ぎょうぎ ば 向けた協議の場の せっち 設置	ぎょうぎ ば せっち 協議の場の設置	ねんどちゅう せっちよてい 2020年度中に設置予定
ちいき せいかつ しえん きよてん 地域生活支援拠点 とう せいび 等の整備	せっち すく しょ 設置 (少なくとも1か所)	ねんどちゅう せいびよてい 2020年度中に整備予定
ふくししせつ いっぱん 福祉施設から一般 しゅうろう いこう 就労への移行	ふくししせつ たいしよ いっぱん 福祉施設を退所し一般 しゅうろう いこう ひと かず 就労へ移行した人の数 にん が666人	ねんどじっせき にん 2019年度実績：621人
	しゅうろういこうしえんじぎょう リ 就労移行支援事業の利 ようしゃすう にん 用者数が846人	ねんどじっせき にん 2019年度実績：797人
	しゅうろういこうりつ わりいじょう 就労移行率が3割以上の しゅうろういこうしえんじぎょうしよ ぜん 就労移行支援事業所が全 たい わりいじょう 体の5割以上	ねんどじっせき ばーせんと 2018年度実績：51.4 %



ねんど せいかもくひょう 2020年度の成果目標	もくひょう ち 目標 (値)	たっせいじょうきょう 達成状況
ふくしせつ いっぱん 福祉施設から一般 しゅうろう いこう 就労への移行	しゅうろうていちゃくしえんじぎょうしょ 就労定着支援事業所に しよくばていちゃくりつ (ねんど よる職場定着率 (1年後) がわり が8割	ねんどじっせき ぱーせんと 2019年度実績：84.6 %
いりょうてきけ あ ひつよう 医療的ケアを必要 とする しょう 障がいのある こどもを支援する ための かんけいきかん 関係機関の きょうぎ ば せっち 協議の場の設置	きょうぎ ば せっち 協議の場の設置	ねんど せっち 2018年度に設置
しょう 障がいのある人 たい りかいそくしん に対する理解促進 (ほんしどくじもくひょう 本市独自目標)	しょう ひと 障がいのある人にとって ちいき く 地域で暮らしやすいまちで あると思う しょう 障がいのある ひと わりあい ぱーせんと 人の割合：60 %	ねんど ぱーせんと 2018年度：40.8 % ねんど ぱーせんと 2019年度：48.4 % 「しひょうたっせいどちようさ 指標達成度調査」より
	しょう こ 障がいのある子どもにと ちいき く って地域で暮らしやすいま ちであると思う ほんごしゃ 保護者の わりあい ぱーせんと 割合：60 %	ねんど ぱーせんと 2019年度：35.4 % 「しょう じしゃじつたいとうちようさ 障がい児者実態等調査」 より

ねんど せいかもくひょう  
【2023年度の成果目標】

ねんど せいかもくひょう 2023年度の成果目標	もくひょう ち 目標 (値)	せってい かんが かつ 設定の考え方
<p>せいかもくひょう けいぞく 成果目標① <b>継続</b></p> <p>にゅうしょせつ にゅうしょ 入所施設の入所 者の地域生活への いこう 移行</p>	<p>しせつにゅうしょしゃ ちいきせいかつ 施設入所者の地域生活 への移行者数：60人以上 (2019年度末2,009人の3%)</p>	<p>しせつにゅうしょしゃ こうれいか 施設入所者の高齢化や しょう ていど じゅうどか 障がい程度の重度化から、 こんご ちいき いこう の 今後も地域への移行は伸び なや そうてい もくひょうたっせい む 悩む想定。目標達成に向 けた方策を講じることで 2016～2018年度の「施設 入所者の地域生活への 移行者数」の年平均増加率 (約2.1%)達成を目指 し、60人以上と設定</p>
	<p>しせつにゅうしょしゃすう げんしょう 施設入所者数の減少 ：110人以上 (2019年度末2,009人から約5.5%)</p>	<p>しせつにゅうしょしえん さーびす 施設入所支援のサービス りようじっせき 利用実績から、2017～2019 年度の年平均減少率 (1.4%)が今後も続くと の見込み</p>
<p>せいかもくひょう きょうか 成果目標② <b>強化</b></p> <p>ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点 等の整備及び機能 の充実</p>	<p>しよいじょう ちいきせいかつ 1か所以上の地域生活 しえんきよてんどう かくほ 支援拠点等を確保し、その きのう じゅうじつ ねん かい 機能の充実のため年1回 いじょううんようじょうきょう けん 以上運用状況を検 しょう けんとう 証・検討</p>	<p>くに きほんしんしん 国の基本指針どおり</p>

ねんど せいかもくひょう <b>2023年度の成果目標</b>	もくひょう ち <b>目標(値)</b>	せってい かんが かつ <b>設定の考え方</b>
せいかもくひょう <b>成果目標③</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;"> <b>継続</b> </div>  ふくししせつ いっぱん <b>福祉施設から一般</b> しゅうろう いこう <b>就労への移行</b>	しゅうろう いこう しえん じぎょうしよ とう <b>就労移行支援事業所等</b> つう いっぱんしゅうろう <b>を通じた一般就労への</b> いこうしゃすう にんいじょう <b>移行者数680人以上/2019</b> ねんどじっせきひ ばいいじょう <b>年度実績比1.11倍以上</b>  <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">           しゅうろういこうしえんりようしゃ            ・ <b>就労移行支援利用者</b>            にん ばい いじょう  <b>(430人/1.01倍)以上</b>            しゅうろうけいぞくしえんえーがたりようしゃ            ・ <b>就労継続支援A型利用者</b>            にん ばい いじょう  <b>(100人/1.15倍)以上</b>            しゅうろうけいぞくしえんびーがたりようしゃ            ・ <b>就労継続支援B型利用者</b>            にん ばい いじょう  <b>(150人/1.36倍)以上</b> </div>	ほうていこようりつ ひ あ <b>法定雇用率引き上げもあり</b> 2018～2019ねんど こうちょう <b>年度は好調に</b> すいい ひ つづ かくしゅしゅうろう <b>推移。引き続き各種就労</b> しえんしきく お すず <b>支援施策を推し進め、この</b> ねんかん ねんへいきんしゅうろう <b>2年間の年平均就労</b> いこうりつ たっせい めざ <b>移行率の達成を目指し、</b> にんいじょう せってい かくさー <b>680人以上と設定。各サー</b> びす もくひょう <b>ビスの目標についてもこ</b> ねんかん ねんへいきんしゅうろう <b>の2年間の年平均就労</b> いこうりつたっせい めざ せってい <b>移行率達成を目指し設定</b>
せいかもくひょう <b>成果目標④</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;"> <b>強化</b> </div>  いりょうてきけ あ ひつよう <b>医療的ケアを必要</b> <b>とする障がいのある</b> こ <b>子どもへの支援</b>	しゅうろう いこう しえん じぎょうしよ とう <b>就労移行支援事業所等</b> つう いっぱんしゅうろう <b>を通じて一般就労に</b> いこう かつ しゅうろう <b>移行する方のうち、就労</b> ていちゃくしえんじぎょう りよう <b>定着支援事業を利用する</b> わりあい わり <b>割合：7割</b>	くに きほんししん <b>国の基本指針どおり</b>  ほんし しゃかいしげん じょうきょう <b>本市の社会資源の状況</b> とう <b>等をふまえ設定</b>

ねんど せいかもくひょう ぜんべーじ つづ  
**【2023年度の成果目標】** 前頁からの続き

ねんど せいかもくひょう 2023年度の成果目標	もくひょう ち 目標(値)	せってい かんが かつ 設定の考え方
せいかもくひょう 成果目標⑤ <b>新規</b>  しょう ふうし さーび <b>障がい福祉サービ</b> すどう しつ こうじょう <b>ス等の質の向上を</b> はか とりくみ <b>図るための取組の</b> すいしん <b>推進</b>	ほんし しょう ふくし 本市における障がい福祉 さーびすとう しつ こうじょう サービス等の質の向上を はか とりくみ じっし 図るための取組の実施 たいせい かくほ 体制を確保していくほか、 じぎょうしょしえん とりくみ すいしん 事業所支援の取組を推進	ししよくいんむ とりくみ 市職員向けの取組と じぎょうしょしえん とりくみ 事業所支援の取組を りょうりん すいしん 両輪で推進していきなが さーびすとう しつ こうじょう らサービス等の質の向上 はか を図る
せいかもくひょう 成果目標⑥ <b>継続</b>  しょう かつ <b>障がいのある方に</b> たい りかいそくしん <b>対する理解促進</b> ほんしどくじもくひょう <b>(本市独自目標)</b>	しょう かつ 障がいのある方にとって ちいき く 地域で暮らしやすいまちで あると思う障がいのある かつ わりあい ぱーせんと 方の割合：60％  しょう こ 障がいのある子どもにと ちいき く って地域で暮らしやすいま ちであると思う保護者の わりあい ぱーせんと 割合：60％	ぶらん きほんりねん すいしん プランの基本理念の推進を めざ ぜんけいかく みたっせい 目指し、前計画で未達成で あることから継続し設定 する。目標値は、札幌市ま ちづくり戦略ビジョンや たけいかく せいごうせい はか 他計画との整合性を図り せってい 設定

せいかもくひょうたっせい ほうさく  
【成果目標達成のための方策】

ねんど せいかもくひょう 2023年度の成果目標	たっせい おも ほうさく 達成するための主な方策
せいかもくひょう 成果目標① にゅうしょせつ にゅうしょ 入所施設の入所 しゃ ちいきせいかつ 者の地域生活への いこう 移行	ちいきせいかつ おこな ひつよう かいご みまも たいせい ・地域生活を行うために必要な介護・見守り体制の じゅうじつ きょうか 充実強化 ぐるーぶほーむ せいびすいしんとう す かくほ ・グループホームの整備推進等による住まいの確保 そうだんしえん ちいきいこうしえんおよ ちいきていちゃくしえん じゅうじつ ・相談支援（地域移行支援及び地域定着支援）の充実
せいかもくひょう 成果目標② ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点 とう せいびおよ きのう 等の整備及び機能 のじゅうじつ 充実	ちいきせいかつしえんきよてんとう せいびおよ きのう じゅうじつ きょうか ・地域生活支援拠点等の整備及び機能の充実強化
せいかもくひょう 成果目標③ ふくししせつ いっぱん 福祉施設から一般 しゅうろう いこう 就労への移行	こよう そくしん しゅうろう あんてい しえんしゃ のうりよくこうじょう はか 雇用の促進や就労の安定、支援者の能力向上を図 かくしゅとりくみ しょう しゃしゅうぎょう せいかつそうだんしえん るための各種取組（障がい者就業・生活相談支援 じぎょう しょう しゃげんきすきる あっぶじぎょう しょう しゃきょう 事業、障がい者元気スキルアップ事業、障がい者協 どうじぎょうとう じっし 働事業等）を実施
せいかもくひょう 成果目標④ いりょうてきけ あ ひつよう 医療的ケアを必要 とする障がいのあ るこどもへの支援	いりょうてきけ あ じしえんしゃようせいけんしゅう じゅうじつ しんき ・医療的ケア児支援者養成研修の充実新規 しょう ふくしじぎょうしょ がっこう ほいくしょう しえん さぼ ・障がい福祉事業所や学校や保育所等を支援するサポ ーといし はいち しんき ート医師の配置新規
せいかもくひょう 成果目標⑤ しょう ふくしきーび 障がい福祉サービ すとう しつ こうじょう ス等の質の向上を はか とりくみ 図るための取組の すいしん 推進	しょう ふくしきーびすとう かか かくしゅけんしゅう じっし しんき ・障がい福祉サービス等に係る各種研修の実施新規 しどうかんさけつか かんけいしちょうそん きょうゆう しんき ・指導監査結果の関係市町村との共有新規 しょう ふくしじんざいかくほ ていちゃくさぽーとじぎょう けんしゅう ・障がい福祉人材確保・定着サポート事業（研修、 きゃりあパス制度導入事業所支援、障がい福祉の仕 ごと みりよくはっしん じっし しんき 事の魅力発信）の実施新規

【成果目標達成のための方策】前頁からの続き

ねんど せいかもくひょう 2023年度の成果目標	たっせい おも ほうさく 達成するための主な方策
せいかもくひょう 成果目標⑤ しょう ふうしきーび 障がい福祉サービ すどう しつ こうじょう ス等の質の向上を はか とりくみ 図るための取組の すいしん 推進	しゅうだんしどうとう じっし じりつしえんしんさし すて むしんさけっかとう ・ 集団指導等の実施、自立支援審査システム審査結果等 きょうゆう しんき の共有 <b>新規</b> しょう じちいきしえんまねーじゃー じぎょうしょ ぎ ・ 障がい児地域支援マネージャーによる事業所への技 じゅつしえんとう しんき 術支援等 <b>新規</b> しんがたころなういる すかんせんしょうとう たいさく かか じぎょうしょ ・ 新型コロナウイルス感染症等の対策に係る事業所 しえん しんき 支援 <b>新規</b> しょう ふうしきーびすどう しつ ひょうか しく けんとう ・ 障がい福祉サービス等の質を評価する仕組みの検討 しんき <b>新規</b>
せいかもくひょう 成果目標⑥ しょう かの 障がいのある方に たい りかいそくしん 対する理解促進 ほんしどくじもくひょう (本市独自目標)	こころ ばりあふりー ふきゅうけいはつ すいしん ぎょうか 心のバリアフリーの普及啓発の推進 <b>強化</b> しみん きぎょうむ こころ ばりあふりーけんしゅう じっし ・ 市民、企業向けの心のバリアフリー研修の実施 こころ ばりあふりーがいで ばん しょうがく ・ 心のバリアフリーガイド(わかりやすい版)の小学 ねんせい はいふ だまえこうぎ つう こどものり 4年生への配布、出前講座などを通じた、子どもの理 かいそくしん 解促進 へるぶまーく へるぶかーど はいふ しゅうち ・ ヘルプマーク・ヘルプカードの配布・周知 さっぽろしこころ ばりあふりーすいしんまーく かつよう ふ ・ 札幌市心のバリアフリー推進マークを活用した普 きゅうけいはつ 及啓発

## 第4章 障がい福祉サービス等の種類ごとのサービス量見込み

- ・国の基本指針に基づき、過去実績等から見込量を算出。概ね増加傾向の見込み。
- ・下表に記載している障がい福祉サービス以外にも、本書では、国の基本指針等に基づいて「相談支援体制の充実・強化等」や「障がい福祉サービス等の質の向上」、「その他の社会参加に係る支援」などに係る見込量を設定。

### 【主な障がい福祉サービス等の種類ごとのサービス量見込み】

サービス種別	単位	2021	2022	2023 (2020決見比)
訪問系 〔居宅介護、重度訪問 介護、同行援護、行動 援護、重度障がい 者等包括支援〕	利用人数 (人/月)	6,021	6,151	6,291 (107%)
	利用時間数 (時間/月)	239,150	256,500	275,730 (125%)
日中活動系 〔生活介護、自立訓 練、就労移行・継 続・定着支援、療 養介護、短期入所〕	利用人数 (人/月)	18,970	19,930	20,880 (116%)
	利用日数 (人日/月)	293,990	302,070	310,280 (109%)
居住系 〔自立生活援助、共 同生活援助、施設 入所支援〕	利用人数 (人/月)	5,943	6,236	6,559 (116%)

おも しょう ふくし さーび すとう しゅるい さーび すりょう みこ ぜんぺーじ つづ  
**【主な 障がい福祉サービス等の種類ごとのサービス量見込み】** 前頁からの続き

さーび すしゅべつ サービス種別	たんい 単位	2021	2022	2023 (2020 <sup>けつみひ</sup> 決見比)
そうだんしえん <b>相談支援</b> ( けいかくそうだんしえん 計画相談支援 )	りょうにんずう にん つき 利用人数 (人/月)	9,545	10,161	10,777 (121 <sup>ぱーせんと</sup> %)
しょう じしえん さーび す <b>障がい児支援サービス</b> ( じどうはつたつしえん (い 児童発達支援 (医 療型・居宅訪問型 ふうがた きょたくほうもんがた 含む)、放課後等デイ さーび す ほいくしょとう サービス、保育所等 ほうもんしえん しょう 訪問支援、障がい じそうだんしえん 児相談支援 )	りょうじどうすう にん つき 利用児童数 (人/月)	15,108	16,302	17,496 (126 <sup>ぱーせんと</sup> %)
	りょうにつすう にんにち つき 利用日数 (人日/月)	134,580	144,390	154,200 (124 <sup>ぱーせんと</sup> %)



○計画 (Plan)

くに けいかく きほんししんとう もと しょう かつ かんけいしゃ しみん いけん  
国の計画や基本指針等に基づき、障がいのある方や関係者、市民のご意見をお  
き ほんけいかく さくてい  
聴きしながら、本計画を策定。

○実行 (Do)

さくせい けいかく しょう かつ ふく ひろ しみん しゅうち かんけい  
作成した計画を、障がいのある方も含め、広く市民に周知するとともに、関係  
ぶきょく れんけい もくひょうとう たっせい む しさく すいしん  
部局とも連携しながら、目標等の達成に向けて施策を推進。

○評価 (Check)

ほんけいかく もと しさく じっせき たっせいじょうきょうとう さっぽろししょう しゃしさく  
本計画に基づき施策の実績や達成状況等について、札幌市障がい者施策  
すいしんしんぎかい さっぽろしじりつしえんきょうぎかい さっぽろしせいしんしょうがいしゃほけんふくししんぎかいとう かん  
推進審議会、札幌市自立支援協議会、札幌市精神障害者保健福祉審議会等の関  
けいきかん ほうこく ちゅうかんひょうか おこな  
係機関に報告し、中間評価を行う。

○改善 (Act)

ちゅうかんひょうか けつかとう う かんけいきかん いけんとう ふ ひつよう おう しさく  
中間評価の結果等を受け、関係機関の意見等も踏まえながら、必要に応じ、施策  
みなお しんきしさく ついか けいかく みなお おこな  
の見直しや新規施策の追加など、計画の見直しを行う。